

## ～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

### ◆VCN°24 ルナール・デ・コート

生産地方：オーヴェルニュ

### 新着ワイン情報

#### VdF ル・クラポー・ノワール 2012 (赤)

ボリュームはあるが味わいはとてもしなやか！最初は、キルツシュなどアルコールの香りが強いが、グラスに長く置いているとプルーン、タバコの葉、アニス、パンデピスなど色々な香りが複雑に上ってくる！ちなみに、ティエリはエスニック料理が好きなので、タジン鍋を使った料理と合わせてよく飲むとのこと！

#### VdF ダンス・アベック・ル・ムー 2012 (赤)

2005年以來久々の登場！ル・クラポー・ノワールのガメイをベースにその他赤の品種を全てアッサンブラージュ！2012年は当たり年だけあって、ワインが力強い！それでいてワインの味わいがしなやかなのは、さすがティエリのセンスとしか言いようがない！ちなみに、この年からピジャージュなどを一切行わず抽出を極力抑えたロングマセラシオンに挑戦している！

### ミレジム情報 当主ティエリ・ルナールのコメント

2012年は、フランス中が大凶作と言われている中、ここクレルモンフェランの北西部にある私の畑は、6月に軽く雹に当たって収量が1割ほど減ったくらいで、あとはおおむね収穫まで天候が大きく崩れることはなかった。収穫したブドウは見た目ほとんど無傷で、どれも選果の必要のないきれいな状態のブドウを取り入れることができた！

総じて2012年は赤の当たり年だった！収穫したブドウの潜在アルコール度数は優に14%を超えていて、しかも、超完熟していたにもかかわらず、ブドウの酸が全く落ちていなかった！8月中旬から夜の気温が急に下がり、日中と大きく寒暖の差があったおかげで、ブドウは酸を維持することができた！2011年も稀に見る当たり年だが、2012年はより力強く輪郭のはっきりしたフィネスのある長期熟成に耐え得るワインに仕上がっている！

### 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

地価の高騰で年々ブドウ畑が住宅地へと変わりつつあるクレルモンフェラン郊外。地価高騰の影響は、ティエリのような小さなヴィニョロンにとっては大打撃だ…。彼の借りている畑で、ガメイの樹齢が110年を超えるクラッポ・ノワールの区画が0.5 haある。そこは高台に面し、クレルモンフェランの市街を一望できる絶好のロケーションにあるが、来年にはその半分が宅地として開墾される予定だ。さらには、買い手が現れ次第だが、ここ2～3年の間で全てが更地となる可能性もあるとのことだ…。今年、彼は新たに0.3 haのガメイの土地を借り入れることに成功したのだが、前の所有者の手入れが悪く、一から畑を立て直さなくてはならない状況にある。

近年の不作、畑の減少等々…将来的な流れを見越して、彼は2013年から試験的に一部ネゴスのブドウでワインを仕込むことにした。そのワインを今回の訪問で試飲させてもらったが、これがまた無茶苦茶うまい～！ブドウはヴェルメンティーノで、モンパリエ北のピクサンルー付近のバイオディナミ農法を行っているヴィニョロンから購入している。ヴィニョロンはソルガのアントニーからの紹介なので出所もしっかりしている！しかも、自らが収穫しブドウをトラックでドメーヌまで運んで仕込んでいる！「ピクサンルーまでは、車で3時間と掛からない。ネゴスで儲けるつもりはそうそうないが、でも、このまま黙って借金を重ねてドメーヌを潰すよりは、少しでもワインをつくってドメーヌを支えた方が賢明だと判断した」と、今置かれている状況を彼は正直に打ち明けてくれた。

(2014.8.4.ドメーヌ突撃訪問より)